

第4次桐生市地域福祉活動計画 進捗状況評価

基本目標1
安心・安全の地域づくり

※「評価」欄については、前年度の比較ではなく当該年度の事業(おもな取組)の進捗率について、下記基準によりA～Eの記号を記載してください。

A:80%～100% B:60～80% C:40～60%
D:20～40% E:0～20%

取組の 方向性	No	取組	取組内容	該当ページ	担当課	事業の成果を表す 主な指標	年度	目標値	実績値	社協	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
適切な福祉情報の提供	1 - 1	① 福祉情報提供の充実	「社協だより」、ホームページ及びSNS等を活用し、住民に広く福祉サービス情報を発信・提供します。	48	総務課 総務係	ホームページやSNS等の掲載回数 ----- 単位:回	R7 R8 R9 R10 R11	460 460 460 460 460	361	評価 総評	B 社会福祉協議会の業務や取組みを定期的に掲載し、地域住民に社協をより身近に感じてもらえるよう努めた。 SNSについては昨年度より掲載回数が増加した。				
			各事業の案内を点訳、音訳し、多様な手段で必要な情報を幅広く発信します。	48	地域福祉課 生きがい対策係	社協だよりを点訳、音訳した件数 ----- 単位:件	R7 R8 R9 R10 R11	2 2 2 2 2	2	評価 総評	A 社協だよりの点訳・音訳版を点字図書館登録者のうち希望者に周知した。				
		② 計画の周知	毎年度、推進委員会において第4次計画の進捗状況を評価し、その結果を本会ホームページにて公表するとともに、支部社会福祉協議会活動や地区別懇談会の開催を通じて定期的に住民に周知を行い、第4次計画への理解を図ります。	48	地域福祉課 地域支え合い係	地区別懇談会・協議体活動等を通じた計画及び進捗状況の周知 ----- 単位:回	R7 R8 R9 R10 R11	22 22 22 22 22	22	評価 総評	A 協議体活動等を通じて第4次計画の周知を実施した。 進捗状況の評価及び公表については、推進委員会の承認を得た後に行う予定。				
			第4次計画の音訳と点訳による周知を行います。	48	地域福祉課 生きがい対策係	点字図書館だよりに掲載及び地区担当職員が周知した回数 ----- 単位:回	R7 R8 R9 R10 R11	23 23 23 23 23	1	評価 総評	E 点字図書館だよりにて、第4次計画概要版の点訳・音訳版を製作したため、希望者に送付する旨を周知した。地区担当職員の周知はできなかった。				
福祉サービスの整備・充実	1 - 2	① 相談支援拠点の整備	地区担当職員が地域で開催されるサロン等集いの場へ出向き、積極的に相談を受け付けます。	50	地域福祉課 地域支え合い係	地区担当職員による地域の行事への参加回数 ----- 単位:回	R7 R8 R9 R10 R11	140 140 150 150 160	140	評価 総評	A 地区担当職員がサロン活動や挨拶運動など地域で行われる行事に参加し、地域から得られる相談や情報収集の窓口となる活動を行った。				
			窓口で受けた相談を断ることなく支援に繋がります。	50	地域福祉課 地域支え合い係	相談対応件数 ----- 単位:件	R7 R8 R9 R10 R11	850 860 870 880 890	880	評価 総評	A 当事者だけでなく、多様な機関や領域からの相談の受付を行った。今後は、地域住民からも多くの相談が集約できる体制づくりをしていく。				
			社会福祉法人と連携し、相談支援体制の充実を図ります。	50	地域福祉課 地域支え合い係	社会福祉法人等との連携・協議回数 ----- 単位:回	R7 R8 R9 R10 R11	10 10 10 10 10	6	評価 総評	B 市内社会福祉法人と情報交換を行うことで、支援体制の充実を図ることが出来た。				
	② 住民ニーズに合わせた基盤整備		住民が主体となり運営されるサロン活動や見守り活動を通じて、地域の支え合いの仕組みづくりを支援します。 ①地域福祉活動推進事業 ②見守り活動推進事業	51	地域福祉課 地域支え合い係	サロン活動への支援件数 ----- 単位:件	R7 R8 R9 R10 R11	75 75 75 75 75	69	評価 総評	A 住民主体のサロン活動への支援を継続的に実施し、地域の居場所づくりの推進を図るとともに、活動の定着や新規立ち上げに向けた環境整備につながった。				
				51	地域福祉課 地域支え合い係	見守り活動への支援件数 ----- 単位:件	R7 R8 R9 R10 R11	25 25 25 28 28	19	評価 総評	B 見守り活動への支援を通じて、地域の支え合いの仕組みづくりを進めるとともに、担い手確保や関係団体との連携強化に向けた取組につながった。				
			地縁によらない住民が主体となり運営される介護予防活動を目的とした通いの場づくりを支援します。	51	地域福祉課 地域支え合い係	通いの場づくりへの支援件数 ----- 単位:件	R7 R8 R9 R10 R11	10 10 10 11 11	8	評価 総評	B 地縁によらない住民主体の通いの場づくりを支援し、介護予防活動の推進につながった。 目標未達であったため、今後は周知や立ち上げ支援を強化する。				
							R7 R8 R9 R10 R11	35 35 35 35 35	20	評価 総評	C 地域福祉活動の財源確保のため行っているが、目標に達しなかった。社協の取組の周知を広げ、さらなる財源の確保へとつなげていきたい。				
			地域福祉活動の財源確保に向けて、寄付金や特別会費の充実を図るとともに共同募金運動を推進します。	51	地域福祉課 地域支え合い係	特別会費の協力件数 ----- 単位:件	R7 R8 R9 R10 R11	35 35 35 35 35							

第4次桐生市地域福祉活動計画 進捗状況評価

基本目標1
安心・安全の地域づくり

※「評価」欄については、前年度の比較ではなく当該年度の事業（おもな取組）の進捗率について、下記基準によりA～Eの記号を記載してください。

A:80%～100% B:60～80% C:40～60%
D:20～40% E:0～20%

取組の方向性	No	取組	取組内容	該当ページ	担当課	事業の成果を表す 主な指標	年度	目標値	実績値	社協	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
福祉サービスの整備・充実	1 - 2	③	支援が必要な人への支援体制の構築	51	地域福祉課 地域支え合い係	圏域連携会議等において福祉課題を抱えるケースの早期発見を行うとともに、社会資源の開発に努めます。		R7	70	54	評価	B			
						総評	R8	70		圏域連携会議等を計画どおり開催し、福祉課題を抱えるケースの早期把握に努めた。関係機関との情報共有を通じ、社会資源の活用・開発に向けた連携強化につながった。					
							R9	70							
							R10	70							
							単位:回	R11	70						
				51	地域福祉課 生活相談係	資金貸付制度に関する相談件数	R7	700	534	評価	B				
						総評	R8	720		相談件数は微増傾向である。住民が安心して暮らせるよう、資金貸付制度だけでなく、他制度他施策や地域の社会資源等の活用等も提案した。					
							R9	750							
							R10	780							
	単位:件	R11	800												
	51	地域福祉課 生活相談係	福祉サービス利用援助事業についてより一層の相談体制を整えるとともに、必要な人に情報が届くよう周知します。	R7	1,850	1,448	評価	B							
			総評	R8	1,860		会議等で事業説明を行い、地域包括支援センターを中心に、多様な関係機関から相談を受けた。その結果、昨年度より契約者数が1割以上増加した。								
R9				1,870											
R10				1,880											
単位:件				R11	1,900										
④	サービスの質の確保	52	地域福祉課 地域支え合い係	第4次計画の進捗状況を評価し、地域と連携しながらサービスや施設の充実を図ります。	R7	22	22	評価	A						
				総評	R8	22		地区別懇談会を計画どおり開催し、第4次計画の周知と地域連携を図った。							
					R9	22									
					R10	22									
		単位:件	R11	22											
52	総務課 総務係	職員が専門性を高める研修に積極的に参加し、サービスの質の向上を図ります。	R7	461	461	評価	A								
		総評	R8	580		研修計画を作成し、年間計画をもとに研修を実施し、職員へ研修への積極的な参加を促した。									
			R9	580											
			R10	580											
単位:回	R11	580													
災害福祉協力体制の強化	1 - 3	①	災害時避難行動要支援者名簿の活用	53	地域福祉課 地域支え合い係	避難行動要支援者名簿の活用方法について市と定期的に情報交換します。	R7	5	5	評価	A				
						総評	R8	10		避難行動要支援者名簿を活用し、各地区からピックアップされた要配慮者について、情報交換を行った。					
							R9	15							
							R10	20							
				単位:回	R11	20									
				53	地域福祉課 地域支え合い係	個別避難計画の作成を支援します。	R7	1	1	評価	A				
	総評	R8	5				各地区からピックアップされた要配慮者を、市及び関係者と一緒に訪問を行い、作成支援を行った。								
		R9	10												
		R10	15												
		単位:件	R11	20											
	②	災害時の体制づくりと連携強化	54	地域福祉課 生きがい対策係	災害ボランティアの研究を継続し、災害時に備えるとともに、過去の災害を想定した研修及び訓練を毎年度実施します。	R7	3	3	評価	A					
					総評	R8	3		災害ボランティアセンター設置運営訓練を計画どおり開催、また他市社協主催の訓練に参加し、災害ボランティアセンターの円滑な設置及び効果的な初動体制づくりを図った。また、桐生青年会議所、みどり市社会福祉協議会との三者で災害時相互協力協定を締結した。						
R9						3									
R10						3									
単位:回			R11	3											
54			地域福祉課 地域支え合い係	支部社会福祉協議会、自主防災組織及び社会福祉法人等との連携による災害時の体制づくりに協力します。	R7	10	6	評価	B						
	総評	R8		10		社会福祉法人と連携し、災害時要配慮者の支援に向けての体制づくりを推進することができた。									
R9		10													
R10		10													
単位:回		R11	10												

※目標値・実績値は数値化が可能なもののみ。

第4次桐生市地域福祉活動計画 進捗状況評価

基本目標 2 支え合いの仕組みづくり

基本目標 2 支え合いの仕組みづくり

※「評価」欄については、前年度の比較ではなく当該年度の事業(おもな取組)の進捗率について、下記基準によりA～Eの記号を記載してください。

A:80%~100%

B:60~80% C:40~60%

C:40~60%

D:20~40%

E:0~20%

取組の方向性	No	取組	取組内容	該当ページ	担当課	事業の成果を表す 主な指標	年度	目標値	実績値	社協	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
地域における 権利擁護の推進	2-1	① 体制整備・情報発信	住民をはじめ、地域包括支援センターや相談支援事業所等の関係機関に、福祉サービス利用援助事業を周知します。	56	地域福祉課 生活相談係	福祉サービス利用援助事業に関する周知の実施回数	R7	8	5	評価	B				
							R8	8		総評	包括支援センター連絡会議等に出席し事業内容の説明を行った。また、東部ブロック会議や専門員連絡会議に参加し、相談対応力の向上に努めた。				
							R9	8							
							R10	8							
						単位:回	R11	8							
		高齢者が日常生活の中で抱えている法律に絡む心配ごとや悩みごとに対し、専門家に相談できる機会を提供します。	56	地域福祉課 生活相談係	専門家による相談会の実施回数	R7	12	8	評価	B					
						R8	12		総評	予約のない月があったものの、高齢者が日常生活で抱える法律に関する不安や悩みに対応するために、高齢者くらしの法律相談を月1回開催した。					
						R9	12								
						R10	12								
					単位:回	R11	12								
	② 成年後見制度の利用促進	福祉サービス利用援助事業の充実を図るとともに、成年後見制度への移行が必要と判断される事例については、関係機関との連携のもと、適切に対応を行い、制度の利用促進を図ります。	56	地域福祉課 生活相談係	成年後見制度に関する相談対応件数	R7	6	4	評価	B					
						R8	7		総評	外部研修・web会議に出席し制度理解に努めた。認知能力が低下した利用者の成年後見制度の移行相談に対応した。					
					R9	8									
					R10	9									
単位:件		R11	10												
成年後見制度に対するニーズが高まるなか、家族や専門職以外の成年後見人のあり方について職員に対し研修会を開催します。		56	地域福祉課 地域支え合い係	成年後見制度に関する職員研修の実施回数	R7	2	1	評価	C						
					R8	2		総評	成年後見制度の理解を深めるため、専門家から成年後見制度について学び、市民からの相談に対応できる体制整備を行った。						
				R9	2										
				R10	2										
単位:回	R11	2													

第4次桐生市地域福祉活動計画 進捗状況評価

基本目標 2 支え合いの仕組みづくり

※「評価」欄については、前年度の比較ではなく当該年度の事業(おもな取組)の進捗率について、下記基準によりA～Eの記号を記載してください。

A: 80%~100%

B: 60~80%

C: 40~60%

D: 20~40%

E: 0~20%

取組の方向性	No	取組	取組内容	該当ページ	担当課	事業の成果を表す 主な指標	年度	目標値	実績値	社協	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
2-2	①	地域における必要な情報の提供	地域ケア会議でサロン活動や見守り活動等のインフォーマルサービスについて情報提供を行います。	58	地域福祉課 地域支え合い係	地域ケア会議における情報提供の実施回数	R7	54	54	評価	A				
							R8	54	総評	地域ケア会議において、サロン活動や見守り活動等に関する情報提供を実施し、関係機関との情報共有を図った。					
							R9	54							
							R10	54							
			単位:回	R11	54										
		地区別懇談会や協議体を開催し、地域の課題等必要な情報を提供します。	58	地域福祉課 地域支え合い係	地区別懇談会・協議体の開催回数	R7	35	32	評価	A					
						R8	35	総評	地区別懇談会および協議体を計画どおり開催し、地域課題等に関する必要な情報提供を行った。あわせて、地域との情報共有と連携強化を図った。						
						R9	35								
					R10	35									
		単位:回	R11	35											
	②	制度的狭間にあるケースを把握し、関係機関・住民と連携・協力し、解決に向けた調整を行います。	58	地域福祉課 地域支え合い係	重層的支援会議・支援会議の開催件数	R7	12	8	評価	B					
						R8	12	総評	複雑化、複合化したケースを多様な機関で連携し、解決に向けた役割分担を行うことで、自立に向けた支援に繋げた。						
						R9	12								
						R10	12								
			単位:件	R11	12										
		民生委員・児童委員と連携し、地域の多様な相談に応えられる支援体制を整備します。	58	地域福祉課 地域支え合い係	民生委員からの個別ケース相談件数	R7	10	10	評価	A					
						R8	10	総評	地区担当職員が地区民生員児童委員協議会定例会に出席し、個別ケースについての情報収集を行い、適切な専門機関へ繋げた。						
						R9	10								
						R10	10								
			単位:件	R11	10										
		相談支援体制の充実に向けて、関連する多様な分野の制度を理解し、関係機関の連携を図るため、勉強会等を実施します。	58	地域福祉課 地域支え合い係	地区担当会議の実施回数	R7	12	6	評価	C					
						R8	12	総評	定期的に地区担当職員会議を開催し、相談支援に関連した制度の理解を深め、地域に出向いた際の支援強化へ繋げた。						
					R9	12									
					R10	12									
	単位:回	R11	12												
③	ひきこもりの人やその家族を支援するための居場所を運営します。	59	地域福祉課 地域支え合い係	居場所の運営回数	R7	24	24	評価	A						
					R8	24	総評	ひきこもりの方やその家族を対象とした居場所を開催することで、今まで相談に繋がっていなかったケースを把握することに繋がった。							
					R9	24									
					R10	24									
		単位:回	R11	24											
	サロン(集いの場)運営者同士のネットワークづくりや情報交換のため、福祉のまちづくりセミナーを年1回開催します。	59	地域福祉課 地域支え合い係	福祉のまちづくりセミナーの開催回数	R7	1	1	評価	A						
					R8	1	総評	孤独、孤立をテーマに、地域に馴染めない人たちの支援についてセミナーを開催し、地域住民が我が事として考えられるようなきっかけをつくった。							
					R9	1									
					R10	1									
		単位:回	R11	1											
	圏域連携会議において集いの場づくりについて情報共有します。	59	地域福祉課 地域支え合い係	圏域連携会議での情報共有の実施回数	R7	54	54	評価	A						
					R8	54	総評	圏域連携会議を継続的に開催し、集いの場づくりに関する情報交換や情報共有を行うことで、関係機関との顔の見える関係づくりと連携強化につなげることができた。							
				R9	54										
				R10	54										
	単位:回	R11	54												

第4次桐生市地域福祉活動計画 進捗状況評価															
基本目標 2 支え合いの仕組みづくり															
※「評価」欄については、前年度の比較ではなく当該年度の事業(おもな取組)の進捗率について、下記基準によりA～Eの記号を記載してください。															
A:80%～100% B:60～80% C:40～60%															
D:20～40% E:0～20%															
取組の方向性	No	取組	取組内容	該当ページ	担当課	事業の成果を表す 主な指標	年度	目標値	実績値	社協	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
健康・介護予防の推進	①	健康づくり・介護予防の普及啓発	住民主体の介護予防活動を新たに創出し、介護予防を普及啓発します。	61	地域福祉課 地域支え合い係	介護予防活動の創出・普及啓発に向け、サロン等へ出向いて行った支援回数	R7	130	121	評価	A				
							R8	130		総評	地区担当職員が地域のサロン等を訪問し、運営支援や助言を通じて、介護予防の視点を取り入れた活動の定着と広がりを図った。				
							R9	130							
							R10	130							
						単位:回	R11	130							
			高齢者のボランティア活動に対して換金可能なポイントを付与し、はつらつと元気に暮らせる地域社会づくりを推進します。	61	地域福祉課 生きがい対策係	ボランティアポイント申請件数	R7	34	30	評価	A				
							R8	36		総評	高齢者の社会参加促進を目的に、ボランティア養成講座や体験会を実施し、介護予防や地域活動への参加促進に取り組んだ。				
							R9	38							
							R10	40							
						単位:件	R11	42							
			市内長寿センター等で、介護予防を推進します。	61	地域福祉課 在宅介護係	長寿センター等における介護予防事業の実施回数	R7	230	230	評価	A				
							R8	230		総評	長寿センター等において、地域で活動を行う介護予防サポーターと協働し、「元氣おりおり体操」を実施し、介護予防活動の推進に取り組んだ。				
							R9	230							
							R10	230							
						単位:回	R11	230							
			桐生市老人クラブ連合会、市、地域包括支援センター等が連携し、各区老人クラブ連合会や単位クラブ活動に介護予防の要素を加えることにより、健康づくり・介護予防を推進します。	61	地域福祉課 地域支え合い係・生きがい対策係	市老人クラブ連合会と連携し、理事会や各種事業を通じて介護予防の周知・啓発を行った機会数	R7	8	1	評価	E				
						R8	8		総評	保健体育部会事業では開催時期の関係から十分な周知に至らなかったが、老人クラブ連合会理事会でのチラシ配布により周知を図り、今後の事業での継続的な周知の了承が得られたことで、次年度に向けた連携体制の構築につながった。					
						R9	8								
						R10	8								
		単位:回				R11	8								
地域全体によるネットワーク化の推進	①	住民相互の交流支援	住民主体の活動による交流を推進するため、支部社会福祉協議会の組織強化と、活動の充実に向けた支援を行います。	63	地域福祉課 地域支え合い係	支部社会福祉協議会活動への支援件数	R7	22	22	評価	A				
							R8	22		総評	支部活動補助金の配布及び支部長研修を実施し、防災に関する知識を深めた。				
							R9	22							
							R10	22							
						単位:件	R11	22							
			地域支え合い推進協議体を地区ごとに設置できるよう、体制を整備します。	63	地域福祉課 地域支え合い係	地域支え合い推進協議体の設置数	R7	11	13	評価	A				
							R8	15		総評	地域支え合い推進協議体の設置に向けた体制整備や関係者との調整を進めた結果、今年度も新たな協議体の立ち上げを実現し、目標を上回る設置数となった。				
							R9	17							
							R10	19							
						単位:カ所	R11	20							
		社会福祉法人との連携	社会福祉法人連絡会を定期的に開催し、地域貢献活動の取組内容を検討するとともに、住民に社会福祉法人の役割を周知します。	63	地域福祉課 地域支え合い係	社会福祉法人連絡会の開催回数	R7	10	6	評価	B				
							R8	10		総評	定期的に連絡会を開催し、地域との連携を検討することができた。今後も地域内における社会福祉法人の役割について検討を続ける。				
							R9	10							
							R10	10							
						単位:回	R11	10							

※目標値・実績値は数値化が可能なもののみ。

第4次桐生市地域福祉活動計画 進捗状況評価

基本目標 3
地域を支える人づくり・活動の促進

※「評価」欄については、前年度の比較ではなく当該年度の事業(おもな取組)の進捗率について、下記基準によりA～Eの記号を記載してください。

A:80%～100% B:60～80% C:40～60%
D:20～40% E:0～20%

取組の方向性	No	取組	取組内容	該当ページ	担当課	事業の成果を表す 主な指標	年度	目標値	実績値	社協	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
福祉活動の推進	3-3	① 市民活動の支援	福祉関連団体にボランティアニーズ調査を行い、調査結果で出たニーズをボランティア側に提供し、マッチング作業を行います。	67	地域福祉課 生きがい対策係	ボランティアのマッチング件数	R7	6	8	評価	A				
							R8	7		総評	ボランティアニーズ調査を行い、調査結果を用いボランティアのマッチングを行った。				
							R9	8							
							R10	9							
						単位:件	R11	10							
			ボランティア活動の新しい場を開拓し、若年・青年ボランティア活動の推進を図ります。	67	地域福祉課 生きがい対策係	新たに開拓したボランティア活動の場の数	R7	1	0	評価	E				
							R8	1		総評	新たな活動の場を開拓しているが、相互のニーズに合わず活動につながっていない。				
							R9	1							
							R10	1							
						単位:カ所	R11	1							
			市民活動に必要な器材を貸し出し、効果的な活動を支援します。	67	地域福祉課 生きがい対策係	器材の貸出件数	R7	17	17	評価	A				
							R8	17		総評	市民活動団体に対し、活動に必要な器材の貸し出しを行い、円滑かつ効果的なボランティア活動を支援した。				
							R9	17							
							R10	17							
						単位:件	R11	17							
	② 活動情報の提供		ホームページやSNS等の多様な媒体を用いて、桐生市ボランティアセンターについて発信します。	68	地域福祉課 生きがい対策係	ボランティアセンターに関する情報発信回数	R7	5	15	評価	A				
							R8	7		総評	ホームページ及びXを用い、ボランティア活動の様子を周知した。				
							R9	9							
							R10	11							
						単位:回	R11	13							
地域協働推進のため	① 協働の場づくり		地域共生社会実現に向け、市及び関係機関と協働し、課題解決に取り組みます。	69	地域福祉課 地域支え合い係	地域支え合い協議体開催件数	R7	25	25	評価	A				
							R8	27		総評	市及び関係機関と協働し、新たな協議体の立ち上げにより、課題解決に向けた取組の広がりが見られた。				
							R9	29							
							R10	31							
						単位:件	R11	33							

※目標値・実績値は数値化が可能なもののみ。